

## 事業提案要約

|            |   |
|------------|---|
| 提案課題名（日本語） | コウ疫撲滅に向けた研究および防疫基盤の確立   |
| （英語）       | The project for establishment of research and disease control systems for eradication of dourine  |
| 研究期間（JST側） | 2024年6月1日～2030年3月31日（条件付き採択期間含む）  |
| （JICA側）    | 2025年6月16日～2030年6月15日   |
| 研究代表者所属名   | 国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学 原虫病研究センター 先端予防治療学分野  |
| 相手国名       | モンゴル国   |
| 相手国研究機関名   | モンゴル国立獣医学研究所<br>Institute of Veterinary Medicine  |
| 研究課題の目的    | 本研究課題では、モンゴル国の動物検疫システム強化、コウ疫の病態精査と宿主特異性の変異可能性解析、ウマの遺伝資源バンク設立、生殖補助獣医療技術専門獣医師養成と専門技術のウマ繁殖管理・コウ疫対策への利用、ならびに関連政府機関・組織に対するウマの防疫、繁殖管理およびコウ疫対策基準の提案を実施する。これにより、同国のコウ疫流行を制御し、撲滅への道を開くことを目的とする。  |
| 研究課題の概要    | 本研究課題では1) モンゴルにおけるコウ疫の現状、ウマの飼育・繁殖および管理システムを調査し、実態と課題を明確にする、2) 感染実験等からコウ疫のウマ特異性が変化し得るか否かを明らかにする、3) コウ疫感染馬由来精子・卵子等に存在するトリパノソーマを除染する手法を開発する、4) 生殖補助獣医療専門獣医師養成などの人材育成・技術移転を実施し、近代的な動物衛生、繁殖管理及び生殖補助獣医療技術の導入と普及を図る。これらの取り組みによってモンゴルの感染症対策と遺伝資源保全の能力を向上させて、同国で流行しているコウ疫を制御し、調査対象地域での発生率を低下させることを目指す。 |

## 実施体制概念図

